

資料

聖嶽^{ムヒリナキ} 洞穴^{ムヒリナキ} をさぐる

昭和四十六年九月二十四日 実施

聖嶽洞穴の所在地

南海部郡本匠村大字宇津々

聖嶽(地名)の語原考

聖(ムヒリ)

月のように天下の物事を知る人
物事にすぐれた人

神仙・仙人

高德の僧、一般の僧

且てこの洞穴に、聖が住んでいたことがあり、畏敬の
気持ちから村人が呼んだので
ありう。

嶽(たき)

岳に同じ

たき(岳) 断崖、または断崖の多

い山全体と呼ぶ

聖一嶽とつづいてムヒリ、たき

と濁つたようだが、そうでなく、当地方俗語でたき、
というとは、断崖、岩壁、岩場のけわしいところを意
味している。嶽(岳)一側左馬を嶽(岳)のようには独立の
山峯に意味されるだけとは、いささか語意がちがっ
ている。

